

安来市小中学校適正配置基本計画（案）への意見募集の結果及び意見に
対する安来市の考え方について

1. 意見募集の結果について

募集期間	令和5年11月1日(水)から11月20日(月)まで
資料公開場所	市ホームページ及び安来庁舎（総合案内）、教育委員会事務局、広瀬庁舎（地域センター）、伯太庁舎（伯太地域センター）
意見提出者数	11名
意見項目数	17項目
意見の対応区分	1 反映：意見や提案内容を本案に反映させていただくもの 2 反映済：意見や提案内容が既に本案に反映されているもの 3 参考にする：意見や提案内容を今後における取組のための参考とさせていただくもの 4 反映又は参考にすることが難しいもの（市の考え方や施策の取組方向等と異なるもの、事業主体が市以外のもの、法令等により市として対応できないもの等） 5 その他：1～5に当てはまらないもの
意見の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のパブリックコメントと関連しない意見等が提出されている場合、その意見等については公表していません。 ・ 意見等を公表することにより、個人又は団体等の権利、競争上の地位その他正当な利益に影響を及ぼす恐れがある場合、その全部又は一部を削除しています。 ・ 意見等の中に誹謗・中傷等、差別的あるいは差別を助長するおそれがある表現が含まれている場合、置き換え等の加筆修正や削除をしています。

2. 意見の内容と安来市の考え方について

No	頁	いただいた意見	安来市の考え方	対応
1	－	飯梨小学校と荒島小学校の再編は計画上3～6年となっていますが、長子が現在5歳の年で新しい友達と馴染むにはできるだけ早いとよいと感じているため、可能な限り早く再編されることを希望します。	基本計画では標準的なスケジュールを示しています。 地域の合意形成ができたところから具体的な実施計画に移ります。 教育委員会事務局としても、校区の方と共に速やかに取り組みたいと考えますので、皆様のご協力をお願いします。	3
2	－	子どもが減ってきて、確実に安来市の人口は減っていきます。 小学校中学校の運営はどんどん合併されて、まとまっていくと思います。 交通安全なども考えていかないといけないと思いますし、スクールバスなども増えてくると不登校な子どもも多少なりとも減ったり、保護者も登校のことでは安心かなと思っています。（出席、欠席の連絡は確実にするようにして事故を防ぐ） 歩く子は本当に長距離を歩きます。保育園は保護者送迎が当たり前で育った子たちが小学校にあがった途端に重たいランドセルを背負って1時間近く歩く子もいます。 体力がつくとも言われてきましたが、事故などを気をつけてとよく思います。 道路の整備も通学路は優先的にしてほしいです。	通学時間・通学距離等の通学条件が変わる場合、児童生徒、保護者にとって負担にならないよう、通学の手段を幅広く検討していきます。特に、低学年の児童にとって過度の負担にならないよう配慮します。 また、通学路の安全・安心確保のため、安全点検を行い、適切な通学路の設定と対策に努めます。	3
3	－	教育の質を考えれば、統廃合はやむ無しと考えます。 広瀬中学校、第三中学校は生徒数の減少が予想されます。 広瀬への統合で検討が必要と考えます。 いろいろな意見をお持ちの方々もおられると思うので、廃校対象の小中学校校区での説明会を希望します。	本計画内で再編対象とならなかった学校については、今後状況が変われば、改めて様々な視点から検討を重ねていきます。 これまでに審議会主催の講演会や基本方針の説明会、答申に向けての意見交換会、基本計画（案）の説明会などを行い、多くのご意見をいただきました。今後は、各地域において主体的に協議いただき、お考えをおまとめい	3

		パブリックコメントで意見を言う方はほとんどいないと思うので、直接幅広く市民の意見を聞きにくいという行政の姿勢が重要だと思います。	ただくことが重要であり、教育委員会もサポートしていきます。	
4	—	<p>比田小学校も再編の対象としていただきたいです。</p> <p>問題点である通学距離も徒歩通学と時間的に変わらないので問題ないと思います。</p> <p>「ちいさな拠点づくり」事業もあるからとの理由を聞きました。これに小学校を絡ませて良いのか疑問です。地元住民からも否定的な意見があります。</p> <p>「小学校があるから地元が活性化する」のではなくて「地元が活性化していくから小学校がある」と考えます。</p> <p>先の事を考えると、中学校になる時に一緒になるので小学校から一緒が良いです。比田だけ外されて中学生になった時にいきなり人数が増え対応出来ないといジメの元になるのではないのでしょうか？保護者に意見を聞いたとの事でしたが、これから小学校に上がる子の保護者にも意見を聞いたのでしょうか？</p> <p>私の周りでは再編希望が多いです。</p> <p>地元住民は地元の事ばかり考えている様に感じます。子供の事を思った再編を希望します。</p> <p>児童数がある程度居ないと切磋琢磨で出来ません。</p> <p>ご検討よろしくお祈いします。</p>	<p>いただいたご意見の一方で、校区での説明会では存続を希望される声も多くいただきました。総合的な見地から存続としていますが、その理由は地理的要因が大きく、特に低学年の児童への通学の負担を考慮し存続としています。</p> <p>本計画内で再編対象とならなかった学校については、今後状況が変われば、改めて様々な視点から検討を重ねていきます。</p> <p>今後も地域において主体的な議論をいただきますようお願いいたします。</p>	3
5	—	<p>教育委員会の皆様、お世話になっております。</p> <p>私は一市民として、また子育てを経て得た経験を基に、小中学校教育の未来に向けた意見を共有したいと思います。</p> <p>現代の急速な変化に対応するためには、子供たちに柔軟性、創造性、問題解決能力などの資質・能力を養成する必要があります。</p> <p>そのため、より良い教育環境を整備し、教育活動の効果を高め、教育の質の向上を図ることが重要です。</p> <p>予測困難な時代において、一人一人が次の世代の担い手として主体的に行動できるよう、教育環境を整えることが喫緊の課題であり、またそれを実施する教育者側のサポートも同時に必要になると考えられます。</p> <p>【新しい教育アプローチの提案】</p> <p>SDGsの達成に向け、誰一人取り残さない持続可能な社会を構築するために、これ迄にない新たなコミュニケーションに焦点を当てた研修システムの導入が不可欠です。</p> <p>そこで、大人も子供もワクワクする未来の地域社会を創造するため、〈新・コミュニケーション〉に焦点を当てた教育アプローチを検討することを提案いたします。(一部省略)</p> <p>【具体的な研修システムの特徴】(省略)</p>	<p>現在安来市では、学校教育でもコミュニケーションの大切さは全教職員が共通のこととして子どもたちの教育にあたっております。</p> <p>第2期安来市教育大綱においても、方針1の基本目標①において「思考力・判断力・表現力」の育成を図ることを掲げており、この部分が、質問者様が重視されるコミュニケーション能力の育成に当たる部分です。</p> <p>確かな学力を育てることを通じ、広く社会に貢献できる人づくりを目指しております。</p> <p>また、ご提案のあった教職員の研修については、今後の研修計画立案の際の参考とさせていただきます。</p>	3
6	—	<p>丁寧に将来の子どもたちのことを考えておられ頭が下がります。</p> <p>地域の方、職員へは小規模校のよさや課題などもきいてまとめておられますが、かんじんな子どもたちはどう思っているのか、ぜひアンケートなりデータを集めてほしいと思います。</p>	<p>子どもが様々な方法で自分の意見を表し、社会に参加することはこれからの時代にとっても重要なことです。学校準備会設置後には、新しい学校をどんな学校にしていきたいか、子どもたちの意見を聞いたり、話し合う場は必要だ</p>	3

		<p>地域の為になにかしてみたいと考えている子どもたちがいる中でぜひ、子どもたちの思いが今どうあるのかを反映していただき、こどもたちも納得いく学校にしていけたらと思います。</p> <p>学校で過ごしていくのは子どもたち本人がどうあるべきと思っているのか現役高校生にきいてみるのもよいかと思ひます。</p> <p>子どもなく大人だけの案がまとまらないようにと思ひます。</p> <p>こどもまんなか社会に安来市がなるように願っています。</p>	<p>と考へます。ただし、学校の適正配置の計画は、総合的な視点で検討する必要があり、現段階においては、大人の責任において判断していくという考へです。</p>	
7	—	<p>小学校も1学年が複数クラスになるようにしてほしい。トラブルが起きたとき、クラス替えがないと辛い。それは、中学校も同じ。</p> <p>三中は、将来1学年1クラスになる時があるようだが、複数クラスになるように、一中または、広瀬中と一緒にするのはどうか。</p> <p>または、赤江小がみんな三中に入るのはどうか。</p> <p>小学校も中学校も1学年複数クラスになるにしていきたい。</p>	<p>学校の適正配置の検討は、人数の推移だけでなく、子どもたちの育ち・学び、地域との連携、学校施設の整備・管理等様々な視点から検討してきています。学校においては一定規模の集団であることが望ましいとしながらも、その規模については、各自治体の地理的条件も含め実情に合った検討が必要とされています。そのため、校区の拡大による通学の負担や地域性を考慮し、再編計画を策定しました。今後状況が変われば、改めて様々な視点から検討を重ねていきます。</p>	3
8-1	—	<p>日頃から安来市の教育に対し御尽力頂き、ありがとうございます。</p> <p>これまで説明会等に参加させて頂きましたが、基本計画（案）に対しまして現役の中学生の子を持つ保護者として感じたことを書かせて頂きます。</p> <p>1. 小学校の統合について</p> <p>現在の少子化が進む中で、今の体制を維持していくのは難しく、学校の統廃合はやむ得ないという状況であると思ひます。統合することに、統合される側の学校の児童にとっては生活環境が大きく変わることで、負担になることも多いのではないかと思ひます。</p> <p>統合前に統合の学校間での交流はあると思ひますが、短期間での交流では意味がなく、長期的な（1年程度）交流を行った上で統合（生徒の移動）を行う必要があるかと思ひます。例えば、統合対象の学校を1週間ごとに順に回って行き、そこで揃って授業を受ける。そうすることによってお互いの学校の様子を知ることができ、その地区の特色を感じることもでき、地域の方々とのふれあいにもつながるのではないかと思ひます。学校間の移動もイエローバス等を使うことで、統合した際もスムーズな登校ができるのではないかと思ひます。</p> <p>今の時代、リモート交流いう方法もあるのですが実際に会って話す方が良いでしょうし、ずっと一緒に過ごすことがその後の安心感につながるのではないかと思ひます。リモート学習についてはあらかじめできる環境を整えておけば、大雨や大雪で通学が困難な場合でも授業を行うことができるため、このあたりの整備も進めるのも有効ではないかと思ひます。</p> <p>計画案では安来一中校区の小学校については令和17年度までは引き続き存続するとのことですが、4校とも老朽化対応が必要な学校のため、その対応をどうするかが課題となります。ほぼ同時期に建てられており、傷み具合も同じかと思ひます。優先順位を細かく決めて対応するしかないのかなと感じます。</p>	<p>再編対象となる校区の児童生徒にとって、環境の大きな変化に心理的負担が心配される一方で、友だちが増えるなどの期待もあります。</p> <p>再編により統合される学校間の児童生徒が、スムーズに登校するため、相当な期間の中で、計画的に交流活動を行う必要があることはご指摘の通りです。対面で交流する他、ICTを活用したリモートでの交流などの工夫をして、新しい環境に適応できるようにします。</p> <p>継続とする学校についても、既存の校舎の改修工事により、施設を長く持たせると同時に、機能面の向上を図るなど「学校施設の長寿命化計画」を見直し、計画的に進めていく考へです。</p>	3

8-2	-	<p>2. 保幼小の連携について</p> <p>計画案の中で未就学児施設と小学校の連携について書かれていました。このことについてはもちろん大事なことですし、連携がうまくいけば小学校への入学もスムーズに進めることができると思います。</p> <p>今でも残っている地区もありますが、以前は小学校のすぐそばに幼稚園（現在ではこども園）があり、小学校との間での交流が盛んだったため小学校に上がった際にもスムーズに溶け込むことができました。</p> <p>最近ではそのような幼稚園（こどもの園）に入園される園児が少なくなり、休園になっている所もあります。</p> <p>今は（保護者にとって）交通の便の良い保育園・保育所に預けられる方が多く、そうすると小学校との交流は難しく、連携とは言うものの、書面上だけとか先生間での話だけで終わってしまいような感じがします。</p> <p>このあたりはこども未来課との話にもなると思いますので簡単にいく話ではないかと思いますが、考えて頂ければと思います。</p>	<p>市内小学校の中には、複数の未就学児施設から入学してくる学校があり、すべての施設の子どもたちと日常的に児童との交流は難しい学校もあります。ただし入学前に、各施設に教員が出向き、子どもたちの様子を観察したり、職員との情報交換を行っています。また、小学校の1日体験入学での交流や入学後の未就学施設職員との連絡会など工夫をしながら未就学児施設と小学校との接続期のスムーズな移行を支援しています。</p> <p>また、各施設と小学校の間で、接続期におけるアプローチプログラムとスタートプログラムの作成を行い、学びの連続性を図っています。</p> <p>今後も教育委員会と担当課で協議を行い、小学校への入学がよりスムーズになるよう取り組みます。</p>	3
8-3	-	<p>3. 中学校の部活問題</p> <p>現在、各学校とも部活動を維持していくのが難しい状況になっています。特に児童数減少により部員の人数が確保できず、活動できなくなることもあります。学校によっては部活動の種類が限られている学校もあり、校区外の学校を選んで通っている生徒もいるようです。最近では複数校での合同で活動するチームも増えてきていますが、練習場所の調整や移動の問題もあるので、基本的には単独チームが望ましいと思います。中学校の統合により、部員数の確保や部活動の数を増やせるのことに伴う選択肢が増えることは子供達にとっては良いことだと思います。しかし、現状でもある問題ですが指導者の問題があります。児童の人数が揃っていても指導する先生がいないということがあり、十分な練習ができていないこともあるようです。統合により人数を増やすことは良いのですが、それに伴う指導者がいなくては意味がありません。そのあたりも含めて考えて頂ければと思います。外部の方に指導して頂く方法もありますが、指導してもらえる日数にも限りがあります。日々の練習の積み重ねが大事かと思いますので、常に指導を受けられる体制づくりも必要ではないかと思います（松江市の学校では外部チームの練習に行き指導してもらっているところもあるようです）</p>	<p>現在、市内の中学校では、生徒数の減少等により単独校でのチーム編成が困難な部活動もあります。</p> <p>また、競技経験のある専門性の高い教員が必ずしも指導に当たることができるとは限らず、十分な指導を行うことができない状況もあります。これについては、外部指導者を依頼し、専門的な技術指導はもちろんのこと、顧問との練習メニューや指導方法の協議、試合等での戦術的なアドバイスなど多方面で部活動を支えていただいています。</p> <p>今後、学校再編により部員数の確保にもつながり、単独校でのチーム編成が可能になることも期待できます。</p> <p>一方、中学校の部活動改革の一つとして、「部活動の地域移行」の協議も進めています。安来市の子どもたちの豊かなスポーツ・文化活動の環境を地域全体でどう創っていくか、また、指導者の確保・育成の方策等、関係団体も交えて協議し、安来市の実態に応じた中学校部活動のあり方を検討していきます。</p>	3
8-4	-	<p>最後になりますが、今回の計画のみならず（教育委員会だけではなく学校やPTAなども含む）子供に関することを検討する際に「大人の意見」のみで決定されることが多くあります（いわゆる大人の都合）。本来、学ぶのは子供であり、彼らの意見が尊重されるべきではあるのですが、さまざま理由からそういった声は聴かれず進んでいくことがよくあります。子供たちの声を反映させることは簡単ではないでしょうが、そういった声（自分たちはどうしたいか？どうするのがいいと思うのか？）が反映されるとより良い計画になるのではないかと思います。</p>	6の回答に同じ	3
9	-	<p>伯太地区の小学校は、安来市学校施設の長寿命化計画に示されている改修時期の築40年を超えているにも関わらず、改修がなされていなく子供たちの安心・安全が保障されているとは言えない状況で</p>	<p>市内の学校は、建物本体部分の耐震補強については完了しており、耐震については安全を確保しています。また、日常点検や法定点検で施設の状況は把</p>	3

		<p>す。</p> <p>井尻小学校は屋内体育館が劣化状況の健全度が低いですが、他地区の小学校は管理教室棟も計画に沿った改修がされていなく、劣化状況も悪く健全度としては、最低レベルの「早急に対応する必要がある」となっています。伯太地区の再編は早急に行うべき優先度の高いものであります。</p> <p>改修予算として年3億程度が見込まれているようですが、伯太地区の再編及び改修を優先度を上げて対応することを望みます。</p> <p>基本計画（案）を見る限り、中学校再編が前期で小学校再編が後期となっており、中学校再編後小学校再編場所を伯太中学校にすることが透けて見える。基本計画では場所選定を明記しないと聞いていたが、これでは基本計画で再編場所が決定してしまうように取れる。</p> <p>子供たちの安心・安全を最優先として取り組むことを切に願う。</p> <p>また、防災面におきましても、現在1級河川を対象にした防災マップとなっているが、次年度以降これが支流にまで拡大される見込みです。その場合の、避難場所が安田・母里地区のおいてはかなりの変更が予測されます。平成18年頃に発生した洪水が再び起こらないとは限りません。考慮に入れて、安心・安全を最優先した再編をお願いします。</p>	<p>握しています。その上で、緊急度を考慮しながら必要な改修を進めています。ただし、効率的効果的に施設維持を進めており、改善された学校施設や機能の向上が図られた設備も多数あります。</p> <p>第二中学校校区、伯太中学校校区の小学校の再編につきましては、第二中学校と伯太中学校による新設中学校の開校を最優先としたため、該当校区の関係者の負担を考慮し、スケジュールを調整したものとなっています。</p> <p>小学校の再編の時期については、地域のご意見を伺いながら、様々な視点で調査を行い、総合的に検討してまいります。</p>	
10-1	-	<p>学校教育方針・教育大綱については、貴教育委員会方針のとおりで異見はありません。</p> <p>学校の統廃合に当たっては、</p> <p>1、地域づくりに資する学校整備計画の策定</p> <p>第2次安来市総合計画の方針に沿った町作りに資する計画とする。</p> <p>人口問題改善に寄与する学校づくり。</p> <p>児童生徒数の推移で必ず『社会増減は含まない』と記されるが、どのような学校整備計画が社会増(減)にどのように寄与するか推計値を示し、計画を策定することが、今求められ、今ならできると考えています。</p> <p>※今の計画では、この根源的な視点を意図的に忌避しているのではと危惧される。</p> <p>総合計画とは別次元の計画とのお考えではないのでしょうか。</p>	<p>学校の配置が周辺地域に好循環をもたらすことに期待はもてますが、学校は教育施設としてその機能を十分に果たすことが重要です。</p> <p>社会増減は含まないことについては、全国的に少子化が進んでいる現状の中、以前ほど子どもが増えることは考えにくい状況であることや、現在、市全体で取り組んでいるまちづくり対策は長期的な取組が必要であり、予測しづらいことから可能な範囲で予測できる出生数を基本とした推計としています。</p>	3
10-2		<p>2、社会的利便性の追求</p> <p>アクセス（道路）の利便性⇒通学・通勤・公共交通機関の路線 保護者の負担を配慮。</p> <p>中学校、小学校、放課後児童クラブ、子ども園との連携の利便性⇒兄弟姉妹を（離れ離れにし）遠隔地に通わせない。</p> <p>市民体育館、市民運動場、市立図書館、交流センターとの連携（近接設置）。</p> <p>地域スポーツクラブとの連携 スポーツクラブを利用しやすい場所に設置。</p> <p>スクールバスの運行問題は、最終最後の課題。</p>	<p>学校の位置については、周辺環境や交通アクセス、敷地の状況、防災面等も含めて専門的な見地から調査を行い総合的に検討していきます。</p>	3
10-3	-	<p>3、安全性の確保</p> <p>通学道路の安全性の確保⇒歩道の整備、自転車道の整備。</p> <p>※歩道の整備が困難な場所には学校を置かない。</p> <p>急傾斜地、浸水地域等にあつては、安全対策を講ずる。</p> <p>災害時の避難施設としての機能の整備⇒児童生徒が(自然災害により)学校から避難することはないとの、視点から貴教育委員会を中心に、地域振興課、健康福祉部、建設部等と充分協議して計画を策</p>	<p>まずは、子どもたちが安全に通学できるよう安全対策を行うことが非常に重要です。</p> <p>また、学校の場所選定を行う過程では、防災面等からも関係部署間で連携し協議を行いながら進めていきます。</p>	3

		定して頂けたらと思います。 統廃合に当たっては、全国に多くの事例がありますが、近隣米子市の崎津で整備計画を進めている義務教育学校の利便性を重視した計画が参考になったのでその報道記事を添付します。(一部省略)		
10-4	—	<p>◎第二中学校・伯太中学校の再編学校候補地（上記方針に沿った候補地の策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安来伯太日南線、米子広瀬線の接合地附近。 ・生徒の通学、保護者の送迎・通勤の便利な場所（県道に隣接し、安来市中心部・松江市・米子市にもアクセスしやすい場所）。 ・南小学校、こども園大塚、大塚交流センターに近く、相乗的な価値が生まれる。 ・伯太川左岸の自転車道に隣接し、安来市運動公園、安来市体育館、アルテピアなどへの自転車でのアクセスが可能であり、イエローバスの利用にも便利な場所となっている。 ・イエローバス・運動公園－安来高校－安来駅路線の利用、南小学校－情報高校－広瀬路線の利用。 ・運動公園・体育館・プールの利用がしやすいことからスポーツクラブのとの連携が期待できること。 ・大塚の町並みにも近く、生徒・父兄の買い物の利便に資するものであり、他の施策も併せ講ずることにより、地域の衰退を防ぐことができる。 ・県道の歩道の整備ができており、通学時の安全が確保できること。 ・ハザードマップに基づく造成工事は必要となるが、必要なかさ上げが1m程度ですむこと（含む進入路）。 ・こうした利便性の向上により、地域の発展・魅力作りに寄与し、人口（生徒数）の減少を一定程度抑制することが期待できる。 ・「中学校は、ここに作るから、反対に小学校は、他の地域に作り、バランスを取る」的な教育とはかけ離れた発想を持ち込まないこと（第二中、南小学校、情報高校（こども園も）がバラバラに設置されており、地域の発展に寄与していないだけでなく、保護者・生徒に負担を強いている）。 	<p>新設中学校の候補地については、専門的な見地から調査を行い、様々な視点から総合的に検討していく考えです。</p>	3
11	—	安来市内に松江養護学校の分校(小学校、中学校)を作っていただきたいです。 せっかくの見直しなら是非宜しくお願いします。	<p>松江養護学校は、県立の学校であるため、本計画の中での検討は困難ですが、今後空き校舎の活用を考える過程において、調査・研究をしていきます。</p>	4